

事業報告

<研修名>

令和2年度 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業
第2回「地域学校協働活動」関係者研修（県南地区）

<開催日時・会場>

令和2年11月5日（木）10：45～14：30 佐伯市立明治小学校

<参加人数>

14名

<研修趣旨>

「協育」ネットワークを基盤とした地域学校協働活動を推進するため、地域学校協働活動推進員、「協育」ネットワーク関係者を対象に、地域学校協働活の実践事例を通じた学校との連携方策について学ぶ場とする。

<研修内容>

【授業参観】▼地域学校協働活動の実践事例

佐伯市立明治小学校 4年総合的な学習の時間「川の水の災害はだいじょうぶかな」

佐伯市立明治小学校 4年総合的な学習の時間「川の水の災害はだいじょうぶかな」を参観しました。子どもたちはグループに分かれ「地域ボランティアから水害のことや危険箇所についての説明を聞き、聞き取った内容をまとめ発表する」という学習の流れでした。地域の川に対する関心の高さ、教師の動き、地域ボランティアのわかりやすい説明等、学校と地域が「連携・協働」している取り組みを見ることができました。

【全体会】▼事例発表・協議

「学校と地域の協働について」

発表：佐伯市立明治小学校 校長 伊東 俊昭 氏

「コーディネーターとして大切にしていること」

発表：地域学校協働活動推進員 尾崎 紀美子 氏

明治小学校長・地域学校協働活動推進員が発表したことで、両者の関わりを具体的に見ることができました。「授業参観」と「事例発表」を組み合わせることで、学校と地域の連携・協働の在り方について学ぶ機会につながったと思います。尾崎さんは「ボランティアの方が笑顔で帰ってもらうこと、学校がよかったと思ってもらえることを考えながら仕事をしています」と結ばれました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、グループ協議は実施していませんが、質問や意見が多く活発な議論となりました。

<当日の様子(写真)>

【主催者あいさつ】
大分県立図書館 主任社会教育主事 黒木 哲也



【授業参観】
▼授業の様子①



【授業参観】
▼授業の様子②



【授業参観】
▼授業の様子③



【全体会】
▼事例発表 佐伯市立名状学校 校長 伊東 俊昭 氏



【全体会】
▼事例発表 地域学校協働活動推進員 尾崎 紀美子 氏



<参加者感想>

- 学校と地域の関係づくりが大切だと感じた。
- 授業を見ると内容がわかりやすい。
- 今後コーディネーターとして学校とどのように関わっていけばよいかヒントをもらった。
- 子ども達に対する先生・地域ボランティアの方々・コーディネーターの思いが活動につながっていると感じた。